

令和元年

行政視察研修報告書

日出町議会福祉文教常任委員会

日出町議会福祉文教常任委員会行政視察研修報告書

- 1 期 間 令和元年 10 月 23 日（水）～ 25 日（金）
- 2 視 察 地 秋田県仙北市、山形県東根市
- 3 視察事項 (1) 秋田県仙北市議会
「小中学校の学力向上の取り組みについて」
(2) 山形県東根市議会
「充実した子育て支援とさくらんぼタレントクルセンターについて」

4 参 加 者

日出町議会 福祉文教常任委員会

委員 長	衛 藤 清 隆	
副委員 長	岩 尾 幸 六	
委 員	佐 藤 二 郎	
委 員	土 田 亮 治	
委 員	上 野 満	
委 員	川 辺 由美子	
委 員	豊 岡 健 太	
随 行	佐 藤 久美子	(子育て支援課長)
随 行	小 田 雅 章	(学校教育課長)
事務局次長	工 藤 明 美	

5 目 的

2019 年度 全国学力、学習状況調査で大分県は小学 6 年生が昨年度の 9 位から 10 位に、中学 3 年生が昨年 21 位から 13 位と九州では 1 位となっていて県では各校が積極的に授業改善に取り組んだ結果としています。

日出町でも本年度は学力向上支援員と習熟度別指導推進教員を配置し授業公開を行なう事で、教員の指導力向上を計るとしてはいますが全国でもトップレベルにある秋田県の学力向上に対する取り組み又特色ある学校教育を知る為に、仙北市教育委員会と意見交換をし、日出町の学力向上につなぐため教育改善の参考とするものです。

(1) 仙北市教育委員会 「小中学校の学力向上の取り組みについて」

1 仙北市概要

面積 1.093.56 km²

総人口 25.473 人（推計人口、2019 年 6 月 1 日）

仙北市は秋田県の東部中央に位置し、岩手県と接する。市のほぼ中央に田沢湖があり、東に秋田駒ヶ岳、北に八幡平、南は仙北平野へと開ける。

田沢湖地区は日本で最も深い湖・田沢湖がある。農林業と観光業が盛んで、小規模な縄文遺跡が点在し、北部に位置する玉川温泉の北投石は国指定の特別天然記念物である。角館地区は武家屋敷を中心とした重要伝統的建造物群保存地区があり、「みちのくの小京都」と呼ばれる歴史の町であるとともに、桜の名所である桧木内川堤を擁する。秋田新幹線開業後は更に観光客が増加し、東北有数の観光地となっている。西木町地区は、大きい西明寺栗や八津地区のカタクリの群生があり、自然と歴史の町となっている。

2 説明者

仙北市議会	議長	青柳宗五郎
仙北市教育委員会	委員長	熊谷徹
仙北市教育委員会	次長	三浦政喜
仙北市教育委員会	教務課長	伊藤昭光
仙北市議会事務局	局長	三浦清人
仙北市議会事務局	次長	高階栄子

3 視察内容

仙北市角館公民館において研修を行いました。平成 27 年より学びの推進事業を行っており、その推進地区に指定された仙北市の取り組みとして、「確かな学力を身につけた児童の育成」として協力校、支援校 2 校の連携した取り組みが他校によい刺激を与え、全体の学力向上につながっているとこのことで児童 1 人 1 人の学力向上が推進できる体制づくりを目指している重点的なものとしては

- ・児童、生徒が積極的に授業に参加できる環境づくり
- ・児童、生徒の思考を促し深める授業づくり
- ・豊かな教育力を生む学校、家庭、地域の連携です

特に児童生徒の思考力、判断力、表現力、実践力の育成を図るためにドローンをを用いたロボットプログラミング学習の取り組みや家庭学習の推進の取り組み等が印象的でした。教育委員会では教育センターがあり課長以上に教育長、部長、次長と組織づくりに力を入れていて、教育委員会を中心に教員の指導力の強化を計っているとのことで、英語教員を地元の大学から招いたり「教職員の集い」を毎年開催して学校教育の重点や学力向上の施策について共通理解を図っています。小中学校が連携して教員同士が協議、研修する場を増やし教員の意識改革や指導力の向上を目指す取り組みを推進しています。

日出町でも30人学級は実施しているが、仙北市では小学校1年から中学3年まで行っているこうした取り組みも学力向上につながっているのかなとも感じました。

4 所 感

仙北市の取り組みの中で児童一人一人の学力向上が推進できる体制づくりで、やはり教員の意識改革、指導力の強化を重視している。

特に教育委員会を中心とした組織づくりが出来ていて教員との連携もよくとれていて、一体となった取り組みがされている。又 子ども達は学習塾が無くても家庭学習だけで、全国のトップレベルの学力向上が出来ることの驚きそしてふる里を愛し誇りを持つふる里学習の充実など日出町でも参考にすべきことがあるのではと感じた研修でした。



仙北市角館公民館にて

(2) 東根市議会 充実した子育て支援とさくらんぼタントクルセンターについて」

1 東根市概要

面積 206.94 km²

総人口 47,766 人（推計人口、2019 年 6 月 1 日）

東根市は JR 山形新幹線の停車駅や東北中央自動車道、山形空港を有し、高速交通網の要衝となっており、これら交通の便を活かした、県内屈指の工業団地を擁する工業都市で平成 27 年時点で県内で最も人口が増加している市である。

一方、日本一の生産量を誇るさくらんぼをはじめ、もも、ぶどう、ラ・フランス（西洋なし）、りんごなどの果物が年間を通じて生産される「果樹王国」でもある。これらの資源を活かし、さくらんぼ種飛ばしジャパングランプリやさくらんぼマラソン大会を実施するなど、「さくらんぼ」にこだわったまちづくりを展開している。

なお、平成 29 年 4 月には「東根さくらんぼ」が「地理的表示保護制度」に登録された。

○さくらんぼタントクルセンター概要

東根市の子育て支援、保健福祉の地域活動の拠点としての機能を果たす為に整備が進められ 2005 年に開館し、建物はコの字型で保育所の庭園（すこやか広場）を建物全体が包み込むように設計されている。

施設全体の熱源がオール電化方式となっており（一部太陽光発電も設備）、東根市のシンボルである大ケヤキのように人々が集い学び、共生する拠点の場としたことが背景にある

名称のタントはたくさん又いっぱいという意味がありタントクルにはたくさんの方の市民が訪れてほしい施設という願いが込められている。

2 説明者

東根市健康福祉部 子育て健康課長 矢 萩 宏
東根市議会事務局 係 長 菅 井 美奈子

3 目的

現在、日出町では少子化に伴う子育て支援事業計画を策定しており、幼児期の教育、保育、地域の子ども、子育て支援の総合的な充実につとめ

ているところですが、実態調査を行い子育ての家庭のニーズに合った計画が必要と思われます。そこで子育て支援には充実した整備が進められている独自の子育て支援策や 子育て支援、保健福祉の地域活動の拠点としての機能を果たす為に整備されているさくらんぼタントクルセンターの施設の活用内容について日出町が充実した子育て支援に取り組まなければならない課題解決に向けて、参考とするものです。

4 視察内容

東根市議会第4委員会室において子育て支援策についての「子育て応援新5つ星」事業の説明を受けました。

重点事業

- ・子供医療無料化（高校3年生まで）拡充（令和元年10月1日より）
- ・小児インフルエンザ予防接種助成事業（未就学児）
- ・おたふくかぜ予防接種助成事業（1才児）
- ・産前産後ママほっと事業（産後ケア事業、産前産後サポート事業）
- ・ファミリー、サポートセンター報奨金制度等がある



東根市研修風景

「子育てするなら東根市」をテーマにした子育て支援の複合施設さくらんぼタントクルセンターでは、オープンしてから現在まで1日平均1000人の来場者があり、6割が市外、県外のうち5割がけやきホールとのことでした。

その屋内大型遊具施設のけやきホールは、年間を通して親子が自由に来館し遊べる空間としガラス張りの壁、天井の高い立体空間で大けやきをモチーフとした大型遊具等を設置してのびのび遊べるようになっている。これからも創意工夫をしながら子育て支援の拠点施設として充実させたいとのことでした。

又 この施設の運営、管理はNPO法人「クリエイティブひがしね」に委託されている。これが一番の充実した子育て支援になっているのではと感じた所です。

5 所 感

子育てするなら東根市の独自の子育て支援策については遊びを通して、すこやかな成長を育む環境の整備、子供は遊ばなければならない考えで遊びから学ぶ自主性、社会性、創造性など子供が元気に健全に育つことが最高の子育て支援とする理念をもとにした環境の整備が行われています。又 立派な施設に感銘を受けました。日出町のこれからの子育て支援の参考になればと思った研修でした。